



# 平生町

# 議会だより

12月議会報告 第159号  
12月定例会12/11~21(11日間) 2021年1月22日

発行 平生町議会 発行責任者 中川 裕之  
〒742-1195 山口県熊毛郡平生町大字平生町 210-1  
TEL 0820-56-7110 FAX 0820-56-7109  
E-mail gikail@town.hirao.lg.jp  
編集 議会広報広聴調査特別委員会  
印刷 中村印刷株式会社



## 謹賀新年

### 討論

主  
な  
内  
容

定例会・常任委員会・臨時会・特別委員会	……………	2～4ページ
いっぱん質問 7人	……………	5～11ページ
平生っ子のための学校教育／文化財の保護と活用／マイナンバー制度		
道路の管理保全／農業改革とまちづくり／町道の危険箇所		
町事業へのコロナの影響と対応／都市計画区域の土地管理のあり方		
業務量にあった正規職員／介護保険料／学校給食の公会計化		
熊毛南高校への支援体制／町民農園の開設		
産業文教常任委員会行政視察		
研修報告・議会の動き・3月定例会予定	……………	12ページ

# 新年のごあいさつ



平生町議会  
議長 中川 裕之

町民の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えることとお慶び申し上げます。

また、平素から本町行政の運営並びに町議会活動に深いご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年から続いております新型コロナウイルス感染症の拡大は、外出や移動の制限がなされるなど社会経済活動に大きな影響をもたらしています。また、新しい生活様式への対応も求められ、私たちの生活様式が大きく変化した一年でもありました。未だ感染の収束は見通せない状況ではありますが、この国難を乗り越え、一日も早く平穏な生活を送ることができるよう年になってほしいと願っております。

ご承知の通り、私たちを取り巻く社会環境は年々厳しさを増しており、少子高齢化が進む中、地域福祉の充実や、防災力の強化、そして地域振興策など取り組むべき町政の課題は山積しております。

こうした中、本年6月には町議会議員の4年間の任期の折り返しを迎えます。この時にあたり、わたしたちは、就任時に思い描いたふるさと平生の青写真を今一度振り返り、改めて今後本町が歩むべき方向を示していかなければなりません。そして、二元代表制の一翼を担う存在として、誰もが平生町に住んで良かったと感じていただけるまちづくりに全力で取り組んでまいれる所存であります。

町民の皆様におかれましては更なるご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新しい一年が希望に満ちあふれた明るい年になりますよう心からお祈りいたしまして、年頭のあいさつといたします。

令和2年第10回平生町議会定例会が行われ、議案として、補正予算8件、条例7件が上程されました。各議案は、全会一致・賛成多数で可決されました。

## 補正予算

### 一般会計

5,065万円増  
69億5,637万円

### 特別会計

285万円減  
42億1,803万円

### 主な歳入

▽町税 現年課税分  
町民税 1,400万円

固定資産税現年課税分  
2,000万円

### 主な歳出

▽老人福祉総務費

老人福祉センター

関連経費777万円

▽高齢者保健対策費

備品購入費

公用車 285万円

※平生町高齢者

おでかけ支援事業

### ▽観光費

公有財産購入費

用地 380万円

※名切オリブファーム

P3参照



## 主な条例

▽町長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例

地方自治法の改正により、条例において長や職員等が職務を行うにつき善意でかつ重大な過失がないときは、職責に応じた一定額以上の賠償額が免除されるもの。

## 反対討論

条例を定める背景には、住民訴訟の増加と高額な賠償命令などが、首長や職員を委縮させるというものです。

それでは、住民の利益を保証するために法律によって認められている住民監査請求権、住民訴訟提起権の面から考えると国会の審議の中で、政府参考人は、違法な財務会計行為に対する是正効果や抑止効果を有していると答弁していますが、こうした住民の権利が、行政の執行に緊張感を与え、地方財政の健全化や適正化に貢献してきたと私は、考えるものであります。

議案第62号は、地方自治法の改定に伴う条例の制定ですが、以上述べてことを考えるならば、住民監査請求権と住民訴訟提起権の機運をそぐものであり、賛成できません。

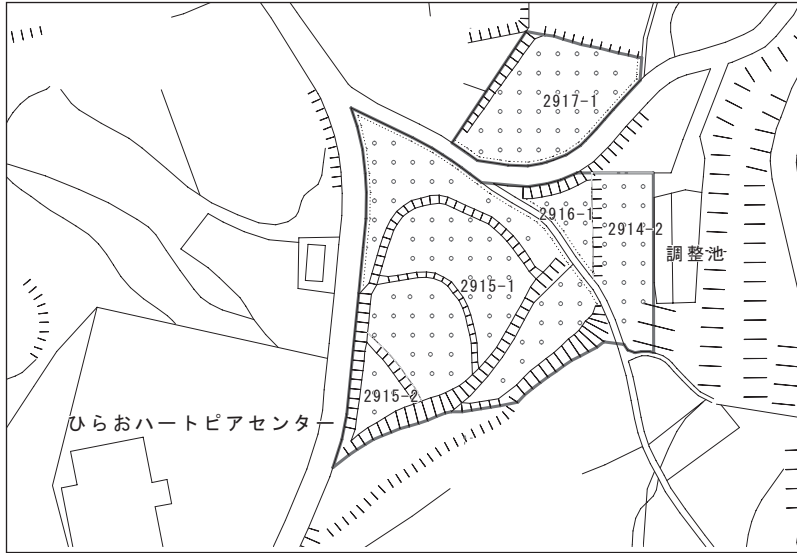
赤松義生 議員

【責任限度額の例】 長の基準給与年額：1000万円、  
乗数：6、損害賠償責任額：1億円  
→責任限度額：1000万円×6＝6000万円  
免責額：1億円－6000万円＝4000万円

▽名切オリーブファームの設置及び管理条例  
オリーブの試験栽培と町の振興作物の試験栽培等を行うために設置。



ハートピアセンター向かいの土地5038㎡。約100本のオリーブの植栽を予定(下図)。  
オリーブの栽培には不向きな水田跡地へ植栽することで荒地対策にも役立てていく。



名切オリーブファーム位置図

【質】 道をへだてて土質【答】 土質、日当り等が異なるが、今後、休めて検証する。  
耕田、畑に対応できる イノシシ対策は、柵よう、多種のオリーブが必要だと思っている  
を植えて試験するのか。 風力発電業者に確認し、用地の借入れがないことを確認している。  
策は。  
風力発電の仮設用地になることが今まであったと思うが、検討したのか。

常任委員会審査報告

産業文教

付託案件を12月15日に審査。全会一致ですべて可決すべきとなりました。

主な質疑

一般会計

【質】 河川維持改良費の需用費の内容は。

【答】 河川3か所分の護岸補修、堆積土の除去、ポンプ場の逆止弁の修繕に係る経費。

特別会計

下水道事業

【質】 下水道整備費の工事請負費の内容は。  
【答】 6区画の団地整備の開削による管路の布設を行うための経費。

漁業集落環境整備事業

【質】 排水施設管理費の、委託料と工事請負費に関連して、委託料の減額理由は。  
【答】 実施設計時の対象機器の減少によるもの。

新庁舎整備調査特別委員会

11月6日、新庁舎建設事業費が約1億9千万円膨らみ、11億8,100万円になるとの説明を受けました。  
主な内容は防災機器等を更新するためです。  
工事終了時期は既設庁舎にある光ファイバー等の移設を円滑に行うため2022年4月末の予定が7月中旬にずれ込む見通しとの報告がありました。

総務厚生

付託案件を12月16日に審査。全会一致で可決すべきとなりました。

条例

▽町長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例

監査委員の意見

最低責任限度額は、政令で定める参酌基準に沿って定められており、特段の意見はございません。

主な予定		
年	月	内容
2021	4	着工
2022	4	落成
	5	供用開始
	7	庁舎整備完了

**第9回  
臨時会  
11月25日**

人事院勧告に伴い、町議会議員の報酬、町特別職・一般職の給与に関する条例を改正

**新庁舎建設関連予算を補正**

一般会計予算総額が 69 億 572 万 7 千円に増額



令和2年第9回平生町議会臨時会が開かれ、補正予算1件、条例3件が上程され、いずれも全会一致・賛成多数で可決され開会しました。

**補正予算の歳入**

▽財政基金繰入金

392万円増  
1億4,827万円

**補正予算の歳出**

▽新庁舎整備事業費

392万円増  
4,511万円

**補正予算に対する質疑**

**質** 新庁舎の関連の予算が出されているが、どうしてこういうことが、この時期に出ているのか。正確な積算はできないのか。

**反対討論**

1997年から世界的に見ると、先進国と言われる国々の時間当たりの賃金の推移は上昇しているが、日本だけは、マイナス8.9%である。ほとんどの国民生活は向上していない。

**答** 専門的な積算は、私どもでは無理である。業者から聞いたものを比べ、一番安心で廉価なものを見つけてやるしか方法はない。

**条例**

▽「平生町議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例」  
▽「町長等の給与に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正

する条例」  
▽「一般職の職員の給料に関する条例の一部を改正する条例」  
※いずれも、人事院勧告により、期末手当の支給月数を改正するもの。

赤松義生 議員

**あなたも議員に立候補しませんか！**

公職選挙法の改正により、下記のとおり公費で実施できることが拡充され、供託金制度が導入されました。

(1) 選挙運動用自動車の使用

区分	公費負担の対象	公費負担の限度額
1 一般運送契約（ハイヤー契約）	選挙運動用自動車として使用された各日の料金の合計金額（1日につき1台に限る）	各日について、64,500円
2 その他の契約	ア 自動車借入契約（レンタカー契約）	選挙運動用自動車として使用された各日の料金の合計金額（1日につき1台に限る）
	イ 燃料供給契約	7,560円×選挙運動日数
	ウ 運転者雇用契約	選挙運動用自動車の運転に従事した各日の報酬の合計額（1日につき1人に限る）

※ 1の契約と2の契約はどちらかの選択になります

(2) 選挙運動用ピラの作成

公費負担の対象	作成限度枚数	限度額（単価）
選挙運動用ピラ（2種類以内）の作成費用（A4版以内）	議員 1,600枚	7円51銭

※ 選挙管理委員会が交付した証紙を貼った2種類以内の選挙運動用ピラの作成  
※ 新聞折込、候補者の選挙事務所内、個人演説会の会場内、街頭演説の場所にて配布可

(3) 選挙運動用ポスターの作成

公費負担の対象	作成限度枚数	単価の限度額
選挙運動用ポスターの作成費用	掲示場数	93,500円÷掲示場数（1円未満の端数は1円に繰り上げ）

(4) 供託金 15 万円 ※供託金没収点：有効投票総数÷議員定数の1/10



細田留美子 議員

# いっぱん質問



が聞きたい



## 質 平生っ子のための学校教育

答 基本計画を学校、保護者、地域等々と協力ししっかり進めたい

質

新型コロナウイルスの拡大で  
学校生活にも大きな影  
響が生じた。これから  
の対策に役立てるため  
の反省と評価が大切  
だ。どう分析している  
のか。  
次に策定中の平生町  
教育振興計画について  
問う。国と県は策定済  
みだが平生町の実情に  
合わせた独自性は持た  
せているか。  
国はデジタル教科書  
化等情報機器教育の推  
進をしている。視力の  
低下やゲームの時間が  
増え生活習慣の乱れが  
心配される。対策は取  
られているか。  
教員もデジタル化や  
コロナへの対応で益々  
忙しくなっている。働  
き方改革の明記は。  
平生っ子が情報の海  
に溺れないよう前例や  
これまでの価値観にと  
らわれない振興計画と  
なっているのか。

答 教育長

コロナ禍による不登  
校、虐待の報告はない。  
行事縮小の影響対応に  
は早くから各学校共に  
児童生徒、保護者、学  
校運営協議会、地域の  
方々と情報を共有し、  
子供達の学力、社会性  
の醸成に向け対応に努  
めている。  
教育振興基本計画は  
庁内策定委員会や策定  
懇話会等の開催を通し  
て本町の現状に沿った  
内容、計画になるよう  
取り組んでいる。国や  
県の計画を参酌し、本  
町から県、国まで一本  
筋の通ったわかりやす  
いものを目指す。  
デジタル化は本格導  
入を国が検討中、健康  
面でも検討課題だ。  
働き方改革は様々な  
内容で本町も進めてい  
る。行事は方向転換や  
内容の変更等、新しい  
生活様式など見直しを  
含め考える。

## 質 町のシンボルとして文化財活用を

答 伝統文化継承活動の支援も検討したい

質

文化財保護法が成立  
して70年となる。学術  
的価値はもとより地域  
のシンボル、歴史を伝  
える教育的価値、観光  
資源ともなる。住民が  
興味を深め価値を再認  
識するような政策が求  
められている。町内の  
文化財保護活用の現状  
とこれからの取り組み  
方針を質問する。  
2018年の法改正  
で市町村に保護活用の  
計画が可能となったが  
予定はあるのか。  
佐賀のどんでん押山  
や3地区の神舞など地  
域には様々な祭りや踊  
りがある。それらは住  
民から親しまれている  
大切な文化財だ。町の  
無形文化財の保護と強  
化はどうか。  
文化財は町民の財産  
であり、よりどころ  
だ。専門職員の配置を  
して一層の保護・活用  
の推進ができないか。

答 教育長

平生町文化財保護条  
例を制定し文化財の保  
護に努め、現在は県指  
定文化財8件、町指定  
文化財8件がある。  
平成30年度は白井小  
介展を開催した。昨年  
度は県指定の文化財を  
補助し、図書館駐車場  
横の案内看板の情報を  
更新した。今年度も県  
の補助事業を活用し変  
更や設置をした。  
町として神舞保存会  
への補助は若干行つて  
いる。ほかへの支援は  
協議を行ってみたい。  
計画の策定は専門職  
員がいないので難しい  
が、今後も指定文化財  
等に関する保護事業を  
進め普及啓発、文化財  
に関する講座、観光資  
源としての活用、学習  
教材としての活用など  
取り組みを続ける。



岩本ひろ子 議員

### 質 マイナンバー制度にかんするセキュリティー対策について

### 答 セキュリティー対策の各種取り組を行う

質

平成27年10月から施行されている。この制度は、住民の所得や他の行政サービスの受給状況を把握し易くなり、負担を不当に免れたり、受給することを防止し易くなる。本当に困っている方へ細やかな支援を行うことができることから公平、公正な社会を実現することが期待される。そこでマイナンバー制度における当町のセキュリティー対策の取り組みは。

答 町長

特定個人情報の適正な取り扱いに必要な事項をまとめた平生町特定個人情報取扱マニュアルを平成29年から運用している。また、担当職員には、毎年セキュリティー研修を実施しており、対策に力を入れている。マイナンバーカードは多くの人が持つことでその効用が高まる。住民に安心して取得、利用してもらえるよう今後もセキュリティー対策の各種取り組みを行う。



### 質 道路の管理保全について

### 答 迅速かつ適切な道路管理に努める

質

町道の歩道が、破損しそのまま放置されている状況である。自転車通学路にもなっていることから住民の安心で安全な交通路を確保する必要がある。これらの管理保全体制はどのようなものになっているのか。

答 町長

町職員によるパトロールや住民の通報により、随時道路補修を行い維持管理に努めている。

国道、県道については国及び県が定期的パトロールを実施、改善が必要な箇所は対策を講じ、住民から通報の箇所は確認後、国、県に早急な修繕等の要望を行なっている。

町道桜町線の歩道の凸凹は工事発注をしていない。引き続き工事発注に努める。



町道桜町線の歩道の凸凹



中本敦子 議員

## 質 これからの農業の発展と方向性は

### 答 兼業農家を支援していくことが必要

質

農業は災害から人々を守り、担い手を育てる役割をしてきた。

現在古い道路や川の

復旧工事は長年応急処理的に対応で基礎に問題があるのではとの声もある。順番待ちで5年待っても直らない。農機具の通る農道の拡幅の手助けはできないか。

平成17年、「農地をどう守るか」の質問に「農道水路等の集落管理を進める」と回答。現在の状況は。

太陽光設置で農業は隅っこにおいやられた感がする。共存する方法はないか。道路、水路整備、農作業の軽減、有害鳥獣対策の改善が望めるほ場整備事業を子や孫に繋げるため取り組めないか。高齢化で道づくり等困難な状況。新たな場づくりが必要では。

答 町長

農道の拡幅等は利用状況等を踏まえ、順次現場を確認し、対応している。

赤線・青線の維持管理は地元の集落や地域住民に管理をお願いしている。コンクリート等は要求があれば支給できる。

農家の多数を占めている兼業農家を支援していくことが必要。今後、農家の声を聴き、政策に反映する。

農業離れを解消する特効薬はないが、今後環境に配りよした農業を継続していく。

太陽光発電は、よい形での共存が必要だ。優良農地を確保し、農業経営を継続していくために中山間地域直接支払制度などの活用、有害鳥獣の防除、農業対策等により、農地の維持を図り、後世に繋げたい。

## 質 町道等危険箇所について

### 答 工事発注を行い、復旧に努めていく

質

路肩注意棒が設置されている所や通行止めされている所の維持補修工事進捗状況は。

応急復旧はどのようなようにしているか。

通行止めは生活に支障がある安全面についてどのように考えているか。

災害復旧工事は何年で行うのか。

答 町長

簡易的な応急復旧できる所は住民への影響を少なくするために早急に対応を進めている。

応急復旧ができないと判断した場合は通行止めを行い、迂回路にて安全を確保する。補助事業の基準に沿ったものは手続きを進め取り組んでいる。補助事業での災害復旧は3年以内となっている。今後

も随時、工事発注を行い、復旧に努めていく。



1年以上たっている通行止め箇所



平岡正一 議員

その他の質問

・介護保険制度

**質** 新型コロナウイルス感染症、町事業への影響と今後の対策は

**答** 一部見直しを含め、引き続き対応

事業名	中止・変更・延期
自主防災合同訓練（平生まち・むら）	中止
戦没者追悼式	中止
敬老会	変更
1歳6ヵ月児健康診査	1回中止
音楽鑑賞会	中止
駅伝競走大会	中止

新型コロナウイルスの影響があった主な町事業

**答** 教育長  
行事の対応に当たっては、保護者、学校運営協議会委員等とその都度対応を協議し、地域ボランティアの方々、これまで関わりのある方々とも情報を共有してきた。学校教育事業の今後の対応は一部見直しを含め、引き続き対応する。協議を慎重に進める中で、関係者の協力を得て再出発をできるものと考えている。

**質**  
新型コロナウイルス感染症拡大防止のために町事業に大きな影響が出ている。調査の一覧表を見ると予算上の変動は少ないが直接予算は伴わない各種の事業で町民の生活に大きな変化が生まれている。コロナ禍で新しい動きもあるが、これまでの事業の見直しも含め検討する好機でもあるかどうか。

**答** 町長  
事業を中止することで関係性や事業実施のノウハウが失われていけないようにしなければならぬ。また、ウィズコロナの事業とはどうあるべきか考えなければならぬ。ICT機器を活用した新たな方法に取り組んでいく。

**質** 都市計画区域内の土地管理の対策を求める

**答** 適正管理を踏まえ対策として考えている

**質**  
町内各地で雑草に対する苦情が多発している。町は関係者間で話し合っって問題解決をするように指導しているようだが限界がある。都市計画法は「地方公共団体及び住民の責務として、良好な都市環境の形成に努めなければならない」と定められている。土地所有者に適正な管理を求める条例を制定出来ないか。

**答** 町長  
本町では快適な環境づくり推進条例の7条に美化の保持に努めるようとある。また、町民、土地所有者の方々に啓発し、特に適正に管理されていない土地への指導の強化については8条の空き地の適正管理、9条の空き家適正管理を踏まえ対策としてまいりたい。



雑草が大きくなった遊休農地





赤松義生 議員

その他の質問

- ・コロナ感染予防
- ・コロナ禍から地域経済を守る

質 町職員のうち非正規が58%正規職員を基本にすべき

答 常勤職員を中心とする適正な人員配置に努める

質

「山口民報」という新聞の報道によれば、職員の非正規の割合が58・3%に及び、メンタルヘルスを患う職員が3・48%とのショックな報道があった。非正規職員の割合が6割近くになっているが、業務は円滑にこなされているのか。メンタルでの休業が目立つが、過労死ラインを超える働かせ方になっていないか。今年度から非正規職員は、会計年度任用職員となったが、時給にすれば900円に満たない。処遇の改善はどうか。

答 町長

業務を何とかこなせていると言った状況である。

常勤職員を中心とすることを前提とした上で、会計年度任用職員の任用は、必要性を検

平生町職員数推移 (人)

年度	正規職員	非正規職員	合計
2015	128	104	232
2016	124	105	229
2017	120	134	254
2018	117	131	248
2019	114	139	253
2020	116	147	263

討した上で民間委託も検討するなど、適正な人員配置に努める。一か月に100時間が目安になるが、昨年度はない。今年度は特別定額給付金事業で5月に3名、6月に1名という状況である。今後恒常的に発生しないよう対処したい。常勤職員の初任給決定基準や昇給の制度との均衡を考りよしながら考えていきたい。

質 基金を活用して高齢者の負担にならない介護保険料に

答 基金を取り崩して介護保険料の試算を行う

質

来年度は、介護保険料の改定が必要になる。いま、平生町では介護給付費準備基金が1億3000万円ある。

この準備基金を活用して、高齢者の負担にならないような保険料にこの際改善すべきと思うがどうか。保険料は、10段階に分けて徴収されているが、所得500万円以上は、どれだけ所得があろうと保険料は変わらない。所得にみ合った保険料を徴収すれば保険料収入が増え、引き下げも可能になる。

答 町長

市町村の条例に基づき65歳以上の介護保険料は3年に一度見直しをされる。

現在、第8期の介護

保険事業計画を作成中で、介護給付費準備基金を取り崩して行うことも含め、介護保険料の試算を行いたいと考えている。また、段階区分についても、保険料の負担割合についても、今後の事業策定の中で検討したい。

(参考) 近隣市町の介護給付費準備基金残高 (2020年度予算)

	平生町	柳井市	周防大島町	上関町	田布施町
基金残高(千円)	131,250	243,245	69,530	68,550	177,268
1号被保険者数(人)	4,553	12,047	8,402	1,511	5,432
1人当たり残高(円)	28,827	20,191	8,275	45,367	32,634

(出所) 山口県社会保障推進協議会・自治体アンケートから作成



河内山宏充 議員

その他の質問

・ 固定資産の管理

質 学校給食費の公会計化等の判断は

答 施設の方針決定を契機に考えてみたい

質

「学校給食費の公会計化等は必須」のようなニュースを耳にした。

答

教育長

昨年7月の文科省の調査で、本町は導入を予定していないと回答した。

大臣記者会見録を確認すると、「給食費の公会計化等の導入をやるかやらないかは小規模な自治体、例えば町村に中学校1校、小学

老朽化している給食施設について、協議しているが、その方針の決定を契機として、できるかどうかを考えてみたい。

校2校そんなに負担なく現場で行われている例もあると思うので各自治体の判断があってもいいと思う。」との発言であった。

現在3名の学校の事務職員に負担をかけている部分が多い。給食費の徴収、管理、滞納者への督促、食材調達

学校給食費の公会計化及び地方公共団体による徴収に係る本町の判断について所見をたずねる。

の仕組みをどう変えていくかなど課題がある。公会計化の時期は予測できないというのが実情である。

学校給食費の公会計化とは

学校給食費を地方公共団体の会計に組み入れる「公会計制度」を採用すること。

見込まれる効果

- ①教員の業務負担の軽減  
→督促業務等からの解放
- ②保護者の利便性の向上  
→クレジットカード払い等
- ③徴収・管理業務の効率化
- ④透明性の向上、不正の防止
- ⑤公平性の確保→滞納減少
- ⑥給食の安定的な実施・充実

文部科学省:「学校給食費徴収・管理に関するガイドライン」より

質 熊毛南高校を支援する体制はできないか

答 協働体制強化を図っていく

質

11月30日の山口県議会代表質問に対する県教育長の答弁では、少子化とはいえ、減少する生徒数の影響で次期の県立高校将来計画は前倒しがなされる。柳井地域での普通高校は統廃合対象の可能性が高いと推測する。

答

教育長

熊毛南高校は令和6年度までの県立高校再編整備計画の再編整備の対象として上げられていない。

現在、普通科高校は県内一学区制なので、地区外となれば県外からの生徒確保になろうかと思う。町に所在する高校の生徒数確保の支援を町はできないものか、たずねる。

平成29年に熊南がコミュニティスクールになっている。学校運営協議会委員に中学校校長・町教委の職員が参加するなど、高中連携の交流もはかられている。教育委員会としては地域との協働推進、熊毛南高等学校運営協議会委員の一員として、引き続きしっかりと支援をしてまいりたい。



熊毛南高等学校



村中仁司 議員

## 質 町民農園を開設できないか

### 答 望む声があれば検討したい

質

ウシカ防除は猛暑時期の防除作業となる。ヘリコプター、ドローンでの防除に高齢者対策として助成または補助は出来ないか。小回りのきく小さな農業がコロナ時代に町民に食料を提供するのに役立つ。小さな農業を守るために、柵、電気柵の補助率を上げるか貸し出しは出来ないか。

答 町長

農薬散布は、高齢者の離農が加速しないよう、支援策について検討する。貸し出し品が消耗品であり、期間も長期に及ぶことから貸し出しはそぐわない。補助率は近隣の状況を参考に検討したい。鳥獣被害防止総合対策交付金による柵の設置は行われていない。地域から相談の聲が寄せられれば、県などとも協議し検討したい。通年奨励金を支給してない市町がある中で、本町は支給している。捕獲隊員の確保も含めて制度のあり方を検討していく。町民農園は望む声があれば検討したい。スマート農業は、専門知識が必要なのでセミナーなどで情報を収集したい。

## 産業文教常任委員会 行政視察

11月17日、産業文教常任委員会は日帰り、日本海に面した阿武町を「産業振興」について視察しました。

阿武町は、「選ばれる町をつくる」という総合戦略のもとで、経済的にも暮らしやすく安全で安心なまちづくりを進め、その魅力を町外に発信し、町外から人を呼び込むことに努められていました。

来られた方に阿武町で生活をし、居ついてもらうためには仕事が必要になる。仕事



阿武町役場で産業振興の取り組みについて研修



年間40万人の人出でにぎわう「道の駅阿武町」

は、第1次産業を重点に、観光という視点も考えているとのことでした。

阿武町といえば「福賀すいか」が有名ですが、農業の振興では、都会の若者

に「短期就農」の機会を提供する1/4WORKS、キウイフルーツ団地の整備、無角牛のブランド化。林業では自伐型林業の推進。水産業では、加工施設整備の推進、付加価値流通の支援。商工業では、年間40万人の人出でにぎわう道の駅の機能強化のための改修、超高速ブロードバンドの整備。働き方の創出として、起業、継業、複業の推進と支援などが取り組まれています。

## 熊毛郡町議会議員 合同研修大会



10月27日、平生町役場で熊毛郡町議会議員の合同研修大会が開かれ、柳井健康福祉センターの保健環境部副部長の林雅裕氏を講師に迎え「感染症対策」について講演が行われました。

林氏は、感染リスクを下げることはできても感染は避けられない。感染者の人權を守ることも大切な課題。コロナはインフルエンザと違い症状がなくても菌をバラ撒く。保健所を通さなくても検査が受けられる体制が整いつつあると話されました。

## 山口県町議会 実務研修会



11月9日、山口市の「セントコア山口」で山口県町議会実務研修会が開かれ、新潟県立大学国際地域学部准教授の田口一博氏が「町議会の委員会運営」について講演されました。

田口氏は、「委員会制度」の必要性は明治時代の直前の頃にはわかっていた。明治5年に全国に学校が作られるとき、学校委員会が設置され、幅広い関係者を集めた。こうした経緯から委員会は議員だけのものではなく、町民も参加するものであると興味深い話をされました。

## 町議会広報研修会



12月4日、周防大島町役場で山口県の町議会の広報研修会が開かれ、平生町広報委員が参加しました。

新型コロナウイルスが猛威をふるう中で開かれた研修会であり、感染防止のため、密を避けて3つの分科会に分かれ、シールドもかぶり、広報の発行の段どり、広報の役割・やりがい、町民の感想を聞いているか等について熱心に意見や情報を交換しました。

## 令和3年3月定例会会期（予定）

3月8日	月	9時	本会議
9日	火		本会議
10日	水		予算特別委員会（予定）
12日	金		予算特別委員会（予定）
15日	月		総務厚生常任委員会
17日	水		産業文教常任委員会
18日	木		議会運営委員会
22日	月		本会議

## 議会の動き

9月10日	第8回定例会	10月29日	産業文教常任委員会
9月24日	全員協議会	10月30日	総務厚生常任委員会
9月25日	特別委員会	11月4日	県町議会議長会
9月25日	新庁舎整備調査	11月6日	定例会
9月25日	特別委員会	11月9日	新庁舎整備調査
9月25日	新庁舎整備調査	11月9日	特別委員会
9月25日	特別委員会	11月17日	研修会
9月25日	郡議会広報連絡	11月17日	産業文教常任委員会
9月25日	協議会定期総会	11月25日	行政視察
10月9日	山口県町自治研修会	11月25日	第9回臨時会
10月9日	熊南総合事務組合	11月30日	全員協議会
10月27日	熊毛郡町議会議員	12月2日	議会運営委員会
10月27日	合同研修大会	12月4日	町議会広報研修会

## 編集後記

「あけましておめでとうございます」と言ってよいか悩むお正月でした。コロナで出初式と成人式は中止になり、表紙の写真がなかなか決定しませんでした。

今年は、新庁舎の建設が4月から始まりです。来年の今頃には、形が完成しているでしょうか。

公職選挙法が改正され、自動車の使用、ビラ・ポスターの作成に公費が出るようになり、供託金を払うようになりました。前回の選挙で平生町は無投票でした。これを機に出る方が現れてほしいものです。

町が示した現行の将来展望人口を令和2年は、569人も下回っております。

コロナ禍、人口減、施設の老朽化。窓から見える雪を見て悩みました。

何はともあれ、今年もよくお願い致します。

松本武士